

第6講

19世紀：長州征討と諸藩への影響 ―よし、長州に味方しよう！― (2014年度)

次の(1)～(4)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えなさい。

- (1) 1864年、禁門の変で敗れた長州藩を朝敵として追討することが決まると、幕府は征討軍の編成に着手し、従軍する諸大名・旗本に対して、定め通りの、各自の知行高に応じた数の人馬や兵器を用意することを命じた。
- (2) 幕府や諸藩は、武器・弾薬や兵糧などを運搬するため、領内の村々に、村高に応じた数の人夫を出すことを命じた。こうした人夫の徴発は村々の負担となった。
- (3) 幕府や諸藩は、長州征討に派遣する軍勢のため、大量の兵糧米を集めた。さらに、商人による米の買い占めなどもあって、米価が高騰した。
- (4) 長州藩は、いったん屈伏したが、藩論を転換して再び幕府に抵抗した。このため幕府は、1865年、長州藩を再度征討することに決定した。しかし、長州藩と結んだ薩摩藩が幕府の命令に従わなかっただけでなく、他の藩の多くも出兵には消極的となっていた。

設問

- A 長州征討に際し、どのような人々が、どのように動員されたのか。2行(60字)以内で述べなさい。
- B 再度の長州征討に際し、多くの藩が出兵に消極的となった理由としてどのようなことが考えられるか。諸藩と民衆の関係に注目して、3行(90字)以内で述べなさい。

解いてみましょう（第6講）Aについて

1 問われている（求められている）ことを確認する。

ア

を書く。

イ

を書く。

ウ 2行（60字）以内で書く。

2 資料と教科書とを照らしあわせる。

(1) アとイの条件に関して触れている資料は と である。

資料中のキーワードとなると考えられる語句をマーカー等でチェックする。

資料 より

関連する教科書（プリント）の記述は

↑

()

資料中の は、教科書に記されている

にあたる。この戦時の負担の理由は、教科書にある鎌倉武士の

と同じである。

なお、資料(1)に、「人馬や兵器」とあるように、大名や旗本の も動員されている。

資料 より

次ページには、ここまでの空欄に入る語句や該当する教科書のページ・行を記しています。（推理小説でいうと、探偵が謎を明かしていく部分です。）

第6講の解き方 Aについて（詳細） 【 謎解きの部分です 】

1 問われている（求められている）ことを確認する。

ア 長州征討に際して動員されたのはどのような人々であったか

を書く。

イ その人たちがどのように動員されたのか

を書く。

ウ 2行（60字）以内で書く。

2 資料と教科書とを照らしあわせる。

(1) ア と イ の条件に関して触れている資料は (1) と (2) である。

資料中のキーワードとなると考えられる語句をマーカー等でチェックする。

資料 (1) より

従軍する諸大名・旗本に対して、定め通りの通り、各自の知行高に応じた数の人馬や兵器を用意することを命じた。

関連する教科書（プリント）の記述は

171 ページの 16～24 行



幕府支配の根本は鎌倉時代と同じ 98 ページの 16～21 行



資料中の 定め通りの通り は、教科書 P. 171 に記されている

大名は石高に応じて一定の兵馬を常備し、戦時には將軍の命令で出陣し

にあたる。この戦時の負担の理由は、教科書 P. 98 にある鎌倉武士の

幕府支配の根本となったのは、將軍と御家人との主従関係である。この御恩に対して御家人は、戦時には軍役を（略）従者として奉公した。

と同じである。

なお、資料(1)に、「人馬や兵器」とあるように、大名や旗本の

家臣

も

動員されている。

資料 (2) より

領内の村々に、村高に応じた数の人夫を出すことを命じた。こうした人夫の徴発は村々の負担となった。

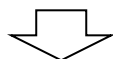
抜き出したものをまとめる

資料(1)と教科書の記述より

- ア 「動員された」のは、ア とその イ 。
- イ 「どのように」は、ウ に基づく エ として、
オ の カ に応じてだと分かる。

資料(2)に関して

- イ 「どのように」は、資料の記述どおり、キ に応じて
ク として ケ された だよ。
- ア 「動員された」のは、村人であるから、コ である。



ア が ウ に基づく エ と
して オ の カ に応じて イ を
率いて出陣し、コ が キ に応じて
ク として ケ された。

これを 60 字以内にまとめる。

解いてみましょう (第6講) Bについて

1 問われている (求められている) ことを確認する。

ア

について書く。その際に、

イ

に注目して書く。

ウ 3行 (90字) 以内で書く。

この観点イは要注意である。「諸藩と庶民の関係」に注目してということは、例えば「薩長同盟が結ばれていて、これは勝てそうにない」と判断したとか、「藩財政が逼迫していて倒産寸前だったから出兵したくても金がなかった」とかいう政治情勢や藩の財政事情を書くのではないということである。

2 資料と教科書とを照らしあわせる。

(1) ア と イ の条件に関して触れている資料は と である。

資料中のキーワードとなると考えられる語句をマーカー等でチェックする。

資料 より

資料 より

これらと庶民の動きとを関連付ける教科書 (プリント) の記述は

資料(4)には、「これ」というものがない。「長州藩と結んだ薩摩藩が幕府の命令に従わなかっただけでなく、他の藩の多くも出兵には消極的となっていた。」に意味があり、設問Bを導くものと考えたい。

第6講の解き方 Bについて（詳細） 【 謎解きの部分です 】

1 問われている（求められている）ことを確認する。

ア 再度の長州征討に際し、多くの藩が出兵に消極的となった理由

について書く。その際に、

イ 諸藩と民衆の関係

に注目して書く。

ウ 3行（90字）以内で書く。

この観点イは要注意である。「諸藩と庶民の関係」に注目してということは、例えば「薩長同盟が結ばれていて、これは勝てそうにない」と判断したとか、「藩財政が逼迫していて倒産寸前だったから出兵したくても金がなかった」とかいう政治情勢や藩の財政事情を書くのではないということである。

2 資料と教科書とを照らしあわせる。

(1) ア と イ の条件に関して触れている資料は (2) と (3) である。

資料中のキーワードとなると考えられる語句をマーカー等でチェックする。

資料 (2) より

こうした人夫の徴発は村々の負担となった。

資料 (3) より

幕府や諸藩は、長州征討に派遣する軍勢のため、大量の兵糧米を集めた。さらに、商人による米の買い占めなどもあって、米価が高騰した。

これらと庶民の動きとを関連付ける教科書（プリント）の記述は

257 ページの 20 行～258 ページの 10 行

開国にともなう物価上昇や政局をめぐる抗争は、社会不安を増大させ世相を陰悪にした。国学の尊王思想は農村にも広まり、農民の一揆でも世直しがさげばれ（世直し一揆）、長州征討の最中に大坂や江戸でおこった打ちこわしには、政治権力への不信がはっきりと示されていた。（略）この「世直し」を期待した民衆運動は幕府の支配秩序を一時混乱におとし入れた。

資料(4)には、「これ」というものがない。「長州藩と結んだ薩摩藩が幕府の命令に従わなかっただけでなく、他の藩の多くも出兵には消極的となっていた。」に意味があり、設問Bを導くものと考えたい。

抜き出したものをまとめる

ア 資料(2)と教科書の記述より、

再度、ア から イ を ウ することは、
彼らの エ を オ させることになり、カ
が起こることが懸念される。

イ 資料(3)と教科書の記述より、

再度の出兵により、再び キ を集めたり、ク によ
って ケ が行われて コ すれば、
サ が起こることが懸念される。

ウ 上記の ア と イ と教科書の記述より、

これらのことは、シ を オ させ、ス
への セ をつのらせ、ソ におとし入れる恐れ
があった。



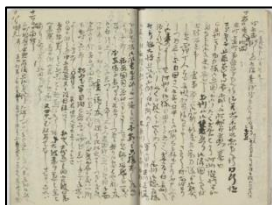
再度、ア に イ となることを課して エ
を オ させたり、キ の ウ や
ク による ケ によって コ
すれば、カ や サ が起こることが懸念される。
これらは、シ を オ させ、ス への
セ をつのらせ、ソ させる恐れがあったから。

三輪田米山の日記に見る長州征討と諸藩の対応



三輪田米山

松山藩領久米村の神職。書で有名であるが、その日記は幕末から明治にかけての貴重な史料



<1864年9月26日の日記>

(8月1日に長州征討(第一次)の準備をするよう諸藩に発令されていた。)長州一事、当方様御近国にて御支度出来候はかり、讃州、宇和島など未御支度出来不申、**土州は御使者参り**、御隣国の事ニ付、出勢、留主もし変事有之は、御加勢ニ預度旨、御当方様より御懸合の処、**百姓 丁人とも長州へ加勢致など申騒くニ付**、**当時取り鎮居候処**、自国さへ右条ニ付、中々御加勢など存もより不申トやらの答の由也、阿州も何様自国の固さへ出来さるに付、長州へ強て行へシト有之は、支度を致へくとやらの由、何様、今治、松山へ差しつき支度出来可申哉、遠近より間者逐々かへり候処、いつれも御支度出来候処は一所も当時迄無之

第一次長州征討について、松山藩主が近隣の藩に支度の具合を尋ねたところ、高松藩(讃州)、宇和島藩などはまだ支度が出来ていないと言ってきた。**土佐藩(土州)からは使者が来て**、(松山藩から)もし松山藩が出兵している間に(松山藩内に)異変が起こったら、土佐は隣の国なので助けて欲しいとの申し入れがあったが、**土佐では百姓や町人が長州に加勢しようなどと騒いでいて、今はそれを鎮めている状態**であり、松山藩に何かあってもとても助けに行くことなどできないと答えてきた。徳島藩(阿州)もなんせ自国の固めもできていないのに、長州藩へ強いて出陣するという事になれば、支度をしなければならぬなあとか言う有様である。なんで今治に松山に匹敵するような支度ができていようか。他藩へ放っていた間者が次々に帰ってきて言うことには、どこもかしこも、出陣の支度が出来ている藩は(松山藩以外に)一つもない

まとめ

長州征討が失敗した理由について、薩長連合など藩政改革に成功した雄藩の台頭を中心に描かれることが多い。しかし、幕末は、

時代であった。